

平成29年第8回教育委員会定例会
(4月27日開会)

台東区教育委員会

○日 時 平成29年4月27日(木) 午後2時12分から午後3時17分

○場 所 教育委員会室

○出席委員

教 育 長	矢 下 薫
教育長職務代理者	末 廣 照 純
委 員	樋 口 清 秀
委 員	高 森 大 乗
委 員	垣 内 恵美子

○説明のために出席した事務局職員

事 務 局 次 長	田 中 充
庶務課長兼事務局副参事	事務取扱 事務局参事
	岡 田 和 平
学 務 課 長	山 田 安 宏
児 童 保 育 課 長	佐々木 洋 人
放課後対策担当課長	福 田 兼 一
指 導 課 長	屋 代 弘 一
教育改革担当課長 (兼 教育支援館長)	小 柴 憲 一
生涯学習課長	小 川 信 彦
スポーツ振興課長	廣 部 正 明
中央図書館長	齊 藤 明 美

○日 程

日程第1 議案審議

第25号議案 旅館業営業許可(上野1丁目)に関する教育委員会の意見聴取について

日程第2 教育長報告

1 協議事項

(1) 児童保育課

ア 私立認可保育所の増築について

イ 保育所等における業務効率化推進事業の拡充について

(2) 指導課

ウ 平成30年度使用台東区立小学校教科用図書採択(道徳)について

エ 台東区立小学校教科用図書採択（道徳）の調査研究に係る教科用図書調査研究委員会委員名簿について

(3) 生涯学習課

オ 須賀一写真展「昭和の上野」実行委員会が実施する事業に対する後援について

(4) 中央図書館

カ 中央図書館所蔵郷土資料（貴重資料）の館外特別貸出について

2 報告事項

(1) 庶務課

ア 「区長への手紙」等にかかる教育委員会の対応について

イ 後援名義使用について

(2) 学務課

ウ 平成29年度夏季施設等の日程について

エ 平成29年度連合体育大会等の日程について

オ 平成30年度新入学「台東区立中学校選択制度」のスケジュールについて

(3) 指導課

カ 平成29年度国際理解重点教育中学生海外短期留学派遣生徒選考結果等について

3 その他

台東区文化財調査報告書の刊行について

午後2時12分 開会

○矢下教育長 ただいまから、平成29年第8回台東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、樋口委員にお願いをいたします。

それでは、会議に入ります。この際、あらかじめ会議時間の延長をいたしておきます。

それではここで、傍聴についてお諮りいたします。

本日の教育委員会に提出される傍聴願については、これより許可いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 これにご異議ございませんので、傍聴については許可いたします。

○矢下教育長 次に、日程第2、教育長報告の協議事項、指導課のエについて、お諮りいたします。

本件につきましては、教科書採択の公正確保のため、会議規則第15条の規定に基づき、全ての日程終了後、秘密会において協議いたしたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、そのように決定いたしました。

〈日程第1 議案審議〉

第25号議案

○矢下教育長 それでは、日程第1、議案審議に入ります。

議案の提案理由及び内容について、説明をお願いします。

はじめに、第25号議案を議題といたします。

庶務課長、説明をお願いします。

○庶務課長 それでは、第25号議案、旅館業営業許可に関する教育委員会の意見聴取についてご説明いたします。

本案は、旅館業法の規定に基づき、台東保健所長より意見を求められておりますので提出したものでございます。

議案の2枚目の表面に、保健所長からの照会文書がございます。ご覧ください。

申請地は、上野一丁目13番4号、申請者は、株式会社グランドデザインでございます。営業種別及び名称は、旅館営業、(仮称)EDIT湯島 旅館営業 PROJECT、新規の申請でございます。

今回該当いたします教育関係施設は、黒門小学校で、申請地からの距離は40メートルとなっております。学校からは見通すことができません。

2枚目の裏面、地図をご覧ください。

中央の囲いで斜線になっている部分が申請地で、その右上方に黒門小学校がございます。

地図に太線で示した部分が黒門小学校の通学路で、今回対象となります旅館の前面道路は、通学路とはなっておりません。

3枚目の裏面から5枚目の表面にかけて、各階の平面図がございます。まず、3枚目の裏面をご覧ください。

1階でございますが、受付やロビー等がございます。4枚目の表面には2階、裏面には3階から9階、そして、5枚目の表面には10階の平面図が記載されております。客室は、各階1室ずつとなっております。全ての客室に2段ベッドが3台ずつございます。図面の中央には6人室と記載がございますが、エキストラベッドを1台設置することができるようになっていて、実際の定員は1室7人ということでございます。合計9室、定員63人となります。

続きまして、5枚目の裏面には立面図がございます。

最後に、黒門小学校長からの意見を添付いたしました。

それでは、議案の1枚目の裏面にお戻りください。

教育委員会の意見（案）として、小学校の近くで新たに旅館業を開業することについては望ましいことではない。しかし、申請者が、学校の行事や地域の行事等に協力するとともに、登下校時の安全配慮等、子供の教育環境に対しても十分な配慮をするならば、やむを得ないものとする。また、申請者には、宿泊客に対しても、子供の健全な教育環境を阻害するような行為に対する注意喚起をお願いしたい、といたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○矢下教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

○高森委員 1枚目の裏面の、教育委員会の意見聴取の文章ですが、私も4年間、教育委員をしておりますが、少しずつ充実してきていまして、私たちの意見が盛り込まれていることがわかります。ありがとうございます。

○矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、これより採決いたします。

本案については原案どおり決定いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、第25号議案については原案どおり決定いたしました。

〈日程第2 教育長報告〉

1 協議事項

(1) 児童保育課 アイ

○矢下教育長 次に、日程第2教育長報告に入ります。

まず、協議事項を議題といたします。

事務局各課ごとに説明をお願いします。

はじめに、児童保育課のア及びイについて、児童保育課長、説明をお願いします。

○児童保育課 それでは、私立認可保育所の増築について、資料1をご覧ください。

29年度に増築を予定している私立認可保育所についてご報告をいたします。

まず、1、増築する施設についてでございます。社会福祉法人佳水会が運営する上野保育園でございます。現在の定員は49名で、1歳から5歳までをお預かりする施設でございます。現行の園舎は、鉄骨造りの3階建てで、延床面積は約241.11平方メートルとなっております。

増築方法につきましては、現行の園舎の隣の土地に鉄骨造りの3階建て、延床面積約140平米の建物を建設し、現行園舎と接続する壁を取り除き、一体化する形で増築を行う予定となっております。

2、増築工程についてでございます。平成29年9月に増築工事を開始し、来年2月末に工事の完了、平成30年5月に新定員の58名にて運営を開始する予定でございます。

最後に3、今後のスケジュールでございます。現在、整備費、増築経費の補助について、区のほうで今、補正予算の査定中でございます。その後、6月13日に開催の議会の所管委員会にて報告をする予定でございます。

私立保育所の増築については以上でございます。

続きまして、保育所等における業務効率化推進事業の拡充について、お手元の資料の2をご覧ください。

本事業は、平成28年度から実施している、保育所等における業務効率化推進事業のうち、ICT化推進事業について、東京都において平成29年度より補助事業が予算化されたため、区においても都の予算事業に合わせ拡充するものでございます。

まず、1、目的でございますが、保育士の負担となっている書類作成業務等について、ICT化推進のための保育業務支援システムの導入に必要な経費を補助することで、負担の軽減を図るものでございます。

2、拡充の内容でございます。まず(1)対象施設の拡大です。現行の対象施設に加え、都の制度であります認証保育所や家庭的保育事業、その他定期利用保育事業施設、一時預かり専用施設などを対象施設として拡大いたします。

次に(2)補助率、補助額についてでございます。現行の補助額は対象経費の10割で、1施設あたり100万円が上限でしたが、その上限を200万円に引き上げるものでございます。

最後に3、スケジュールでございます。6月13日に開催される議会の所管委員会にて報告を行った後、補正予算成立後に各事業所に周知をいたしまして、事業を開始してまいります。

説明は以上でございます。

○矢下教育長 ただいまの説明につきまして、まずは、協議事項、児童保育課のアについて、何かご質問はございませんか。

○樋口委員 何を協議するのですか。

○児童保育課長 こういった形での増築でございますので、区としても増築に支援をしたいということで、補助事業を実施していきたいと考えている、補助金を支出したいと考えているところでございます。

○樋口委員 そうすると、教育委員会では、補助金を支出するかしないかを審議すればいいということですか。

○高森委員 金額が書いていないので、そこまでではないのではないですか。

○矢下教育長 事案を決定していただくということです。

○樋口委員 そういうことであれば承認します。増員してくれなるなら、ぜひ。

○高森委員 これは、居ながら工事ですか。

○児童保育課長 はい。居ながら工事でございます。

○矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 次に、協議事項、児童保育課のイについて、何かご質問はございませんか。

○高森委員 この目的の部分にも書いてありますが、このICT化推進事業というのは、具体的に何をやる事業でしょうか。

○児童保育課長 保育士の日常的な事務である、例えば保育計画の作成や、園児の名簿を管理するなど、そのようなことを支援するシステムがございまして、そういったものを導入する。また、そういったものを操作する、ハードウェアなどを導入するといったことが事業の対象になります。

○高森委員 では、作業をするのは、当然、保育士さんたちなのですね。

○児童保育課長 基本的にはそうです。保育士の事務負担の軽減ということで、保育士が作業する量の軽減ということになります。

○高森委員 今までも同じような形でやっているかと思いますが、軽減できるような高度なシステムなのでしょうか。例えば、名簿づくりを例に挙げていましたが、どの程度の支援になるのかなという気がするのですが。

○児童保育課長 例えば、システムでフォーマットが決まっていて、そこに入力すると自動的に作成されるというようなものになりますので、そういう部分の業務の負担軽減は図れるかなというところでございます。

○樋口委員 対象の拡充ということですよ。

○高森委員 拡充なのですね。

○樋口委員 認証保育所とか。

○垣内委員 金額も上がりますから、その分、ちょっと高度なサービスもということですよ。

○児童保育課長 そうです。今回、金額が拡充されるので、もう少し機能が充実したシステムを入れたいですとか、ハードウェアをもっと入れたいですとか、そういった場合には

上限が増えてございますので、対応は可能になってくるということでございます。

○高森委員 目的のところの1行目に、「ICT化推進のための保育業務支援システム」とありますが、保育業務支援のためのICT化推進ならわかるのですが、この語順でいいのでしょうか。

○垣内委員 東京都の補助金に、このように書かれているのでは。

○児童保育課長 基本的には、その目的の最後にあるとおり、保育士の業務負担の軽減が主たる目的と考えておりますので。

○高森委員 「ICT化推進による」かな。「ための」とついているから、「ため」だけがこっちに来てしまうのか。

○児童保育課長 ご指摘いただいた点を踏まえまして、文章の主目的のところのわかりやすいように整理をさせていただきます。ありがとうございます。

○矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、児童保育課のア及びイについては、協議どおり決定いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

(2) 指導課 ウ

○矢下教育長 次に、指導課のウについて、指導課長、説明をお願いします。

○指導課長 それでは、資料3をご覧ください。私からは、平成30年度使用台東区立小学校教科用図書採択（道徳）についてでございます。

採択については、概略は資料3の1ページ、教科用図書採択組織の関係図をご覧ください。ここにありますとおり、教育委員会では、教科用図書調査研究委員会へ調査研究を依頼いたします。

依頼内容は、2ページをご覧ください。「台東区立小学校教科用図書採択のための調査研究について」にありますように、1、教科用図書資料作成委員会への調査依頼及び結果のとりまとめについて、2、教科用図書の採択に係る調査研究資料の作成について、の2点でございます。

採択に関わる情報公開は、3ページをご覧ください。「台東区立小学校教科用図書採択（道徳）に関わる情報公開について」にありますように、教科用図書調査研究委員会及び教科用図書資料作成委員会の委員の氏名につきましては、公正を保つため、採択が終了し、9月30日まで非公開としております。

また、教科用図書の調査研究に関する観点といたしましては、4ページをご覧ください。1、正確かつ公正な内容であることなどの「内容等」。2、学習の系統性や発展性が十分考

慮され、教材の配列が適切であるかなどの「構成及び分量等」。3、分かりやすく、読みやすい表現であることなどの「表記及び表現等」。4「使用上の便宜等」。5「造本等」。6「地域性」の六つの観点について、5ページのような様式に沿って報告をいただきます。

今後の日程につきましては、6ページでございますとおり、8月17日の定例の教育委員会において教科書採択についての決定をいただくこととなります。日程案には記載してございませんが、教育委員の先生方への資料説明会を8月17日以前に設ける予定であります。

ご審議、ご承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○矢下教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、指導課のウについては、協議どおり決定いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

(3) 生涯学習課 オ

○矢下教育長 次に、生涯学習課のオについて、生涯学習課長、説明をお願いします。

○生涯学習課長 それでは、須賀一写真展「昭和の上野」実行委員会が実施する事業に対する後援についてご説明をさせていただきます。資料の5をご覧くださいと思います。

須賀一氏は、上野に生を受けまして、台東区を代表する写真家でございます、生涯学習課で実施してございます、映像アーカイブ事業に関しましてもご協力をいただいている方でございます。

本企画は、平成29年6月に上野の鈴乃屋本店ビルにおきまして、昭和の上野の写真を抜粋して展示をするものでございます。本写真展を開催するための実行委員会は、地元の写真家や、台東区写真連盟の会員、上野観光連盟などの有志により構成されてございます。

上野の歴史や魅力を多くの方々に知っていただきたいとの考え方から、写真展の入場については無料でございます。

区民の生涯学習の振興に寄与するという観点から、本件の後援につきましては、ご協議の上、ご許可いただきたいと思えます。

なお、ホチキスどめの資料の一番最後に写真展の概要、また、須賀一氏の概要、それからその裏にA4で1枚だけでございますが、予定をされています写真のイメージを別刷りで1枚添付をさせていただいてございます。このような写真を展示をするということで、事前にご連絡をいただいております。

ご説明は以上でございます。

○矢下教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

○高森委員 今年は区制70周年ということになるのですが、10日間では期間が非常に短い

ような気がいたしますので、せっかくですからもう少し拡大をしていただけたらどうかと思います。当然、写真集ですとか、そういったものも発行されるでしょうけれども、また機会を設けていただきたいと思います。そのようなお考えはありますか。

○生涯学習課長 映像アーカイブ事業でも、須賀一先生の写真のご寄贈をいただいているところがございますので、今後、何らかの形で展示会ではなく、もう少し常設的なものについても検討はしてきたいと考えてございます。

○高森委員 ぜひ関心がありますので、よろしく願いいたします。

○矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、生涯学習課のオについては、協議どおり決定いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

(4) 中央図書館 カ

○矢下教育長 次に、中央図書館のカについて、中央図書館長、説明をお願いします。

○中央図書館長 それでは、中央図書館所蔵郷土資料（貴重資料）の館外特別貸出についてご説明いたします。資料をご覧ください。

中央図書館が所蔵する郷土資料のうち、複製ではない貴重資料を外部へ貸出する件、及び60日を超えて貸出する件について、台東区立中央図書館郷土資料取扱要綱の規定により、台東区教育委員会の承認を得て貸出を行うものでございます。

項番1、申請者でございます。丸山晚霞記念館でございます。なお、本件の貸出につきましては、丸山晚霞記念館が今回の企画の趣旨に合う資料を探していたところ、丸山晚霞記念館学芸員より、当館専門員に相談がございました。当館のほうに学芸員が直接、来場いたしまして、資料閲覧した後に貸出の申し出があったものでございます。

項番2、会場です。丸山晚霞記念館及び併設の東御市文化会館展示室でございます。

項番3、対象資料でございます。委員の皆様方には資料のカラーコピーを添付してございますので、そちらをご覧ください。

①歌川豊国 東都名所 浅草歳の市。こちらは、大判錦絵三枚続でございます。続き絵は1枚ずつ独立した絵ではございますが、つなぐことによってスケールの大きな作品にまとまるように構成されたものでございます。

②歌川広重 東都名所 浅草金龍山年之市群集。③溪斎英泉 江戸名所尽 金龍山浅草寺雷神門之図。④溪斎英泉 猿若町芝居之略図。

以上4点でございます。

項番4、貸出期間は、平成29年7月6日から10月6日でございます。

項番5、展覧会名は、「雷電為右衛門生誕250周年記念 スーパースター雷電と浮世絵で見る江戸時代」展でございます。

会期は、平成29年7月29日から9月24日でございます。

項番7、企画の趣旨でございますが、長野県東御市は日本大相撲史上最強といわれている雷電為右衛門の出生地であり、本年は生誕250年を迎えるに当たり、ゆかりの作品や備品を展示するとともに、雷電為右衛門が生きた江戸時代の繁栄や風俗、庶民の生活ぶりなど浮世絵を通じて紹介するものでございます。

項番8、保険・輸送でございます。保険は、相応の保険に加入する予定でございます。また、学芸員が立会いのもと、美術品輸送専門業者が梱包、輸送を行います。

項番9、展示・警備につきましては、機械警備及び巡回監視を行います。また、展示ケースの温湿度は一定に保ち、資料に影響を与えない照明を用います。

以上、簡単でございますが、説明は終わらせていただきます。ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○矢下教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

○垣内委員 ほかのミュージアムから、貴重な資料ということで、特別貸出の依頼があったということは、とりもなおさず、本区がすばらしい資料をお持ちであるということの証明ではないかと思いますが、ここで2点ほどお尋ねしたいと思います。

まず、会期が2カ月ということで、展示その他に関しては、学芸員さんもいらっしゃるし、状況についてはきちんとコントロールされると思いますが、紫外線などに非常に弱いものですので、このまま展示される予定なのかどうか。また、クオリティコントロールもぜひ、万全を期していただきたいというのをあわせてお願いしておきたいと思います。これが1点。

2点目は、この保険や輸送などの経費は、おそらく先方が、ウォール・トゥ・ウォールで、お返しになるまでお持ちになるかと思いますが、基本、この貸出に関しては、無料で貸出ということなのでしょうか。2点だけ確認をさせていただきます。

○中央図書館長 まず、1点目でございますが、こちらは、この期間、展示変えをしないで、ずっと展示をすると伺っております。

2点目でございます。無料でお貸しすることになってございます。

○高森委員 只今のコンディションのことについてですが、こういった資料は、本区でもしっかりと保管をされ、管理をされていると思うのですが、実際に実物の状態も確認されていますでしょうか。

○中央図書館長 先方の学芸員は、もちろん、直接ご覧いただいて、その上で貸出の申し出をされております。

○矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、中央図書館のカについては、協議どおり決定いたしたいと思

ます。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○矢下教育長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

2 報告事項

(1) 庶務課 アイ

○矢下教育長 次に、報告事項を議題といたします。

事務局各課ごとに報告をお願いします。

はじめに、庶務課のア及びイについて、庶務課長、報告をお願いします。

○庶務課長 それでは、まず報告事項のア、「区長への手紙」等にかかる教育委員会の対応について(3月分)でございます。資料7をご覧ください。

3月は、児童保育課取扱分が4件、放課後対策担当取扱分が2件、生涯学習課取扱分1件、スポーツ振興課取扱分2件、そして、中央図書館取扱分が1件となっております。

まずはじめに、児童保育課の取扱分でございます。一つ目は、区立保育園の卒園に関わるプレゼントについてということで、卒園の記念に簡単なプレゼントを用意するが、断わられるけれども結果的には受け取ってもらっていると。ただし、プレゼントが次々と追加される傾向にあるため、公式のルールを設定してほしいというご意見でございました。

2点目は、三筋保育園について、施設が古すぎて床や壁も汚く寒い。園庭も土で、併設している施設から流れ出た水でぬかるんでしまう。また、地域のイベントへの参加もないので、そういった点を改善してほしいというご要望でございました。

裏面をご覧ください。

続きまして、私立の保育園からの物品提供依頼についてということで、4月になるとスーパーの袋や洗剤、雑巾などを持ってくるように通知があるが、保育園が購入すべきものであるならばそのように保育園を指導してほしいというご意見でございました。

4点目は、保育園の入園申し込みについて、昨年0歳児のクラスに入園申し込みができなかった。また、今年8月に仕事復帰を予定しているが、子供をみてくれる人がいない。どうすればよいのかというご意見でございました。

続きまして、放課後対策担当の取扱分でございますが、こちらは、こどもクラブや児童館についてでございます。浅草橋付近の児童が増えているため、こどもクラブや児童館を増やすよう要望するという意見が2件ございました。

次のページをご覧ください。生涯学習課の取扱分でございます。要支援のお母様に食事をつくっておられる方から、高齢者向けの料理教室の実施についてというご要望をいただきました。

スポーツ振興課取扱分、まず1件目は、リバーサイドスポーツセンターの男子ロッカー室に空気清浄機を設置して抗菌対策をしてほしいというご要望。

2点目は、生涯学習センターのトレーニングルームについて、ランニングマシンを増やしてほしいというご要望をいただきました。

最後のページになります。中央図書館でございますけれども、浅草橋分室の職員について、職員同士の私語が多く、不適切だというご意見を頂戴いたしました。

報告事項のアについては、以上でございます。

続きまして、報告事項のイ、台東区教育委員会後援名義の使用についてでございます。資料8をご覧ください。

庶務課取扱分3件、指導課取扱分1件、生涯学習課取扱分、スポーツ振興課取扱分それぞれ1件となっております。

まず、庶務課の取扱分でございますが、馬道地区大運動会実行委員会が10月に開催をいたします「第37回 馬道地区大運動会」。

2件目は、公益財団法人台東区芸術文化財団が9月から10月にかけて行います、「にほんの美「大人の美術ワークショップ」」でございます。

3点目は、社会福祉法人台東区社会福祉協議会が7月から8月にかけて行います、「夏！ボランティア体験2017」でございます。

指導課の取扱分は、東京都同和教育研究協議会が7月27日に開催をいたします、「第40回 東京都同和教育研究集会」でございます。

裏面をご覧ください。

生涯学習課の取扱分は、一般社団法人遊心が本年5月から来年3月までにかけて上野恩賜公園などで開催をいたします「親子自然遊び講座2017～遊キッズ・遊ジュニア～」でございます。

スポーツ振興課の取扱分は、台東区水泳協会が7月20日から8月にかけて実施をいたします「水泳講習会」となっております。

いずれも継続の案件でございます。事業内容については資料に記載のとおりとなっております。

よろしく願いいたします。

○矢下教育長 ただいまの報告につきまして、まずは報告事項、庶務課のアについて、何かご質問はございませんか。

○樋口委員 1ページ目の区立三筋保育園の件ですが、これは本当に早急に改善していただきたいですね。やはり流水がこども園のほうに流れるというのは、これは掃除した後の水だと思いますので、保育園の園庭の方が低いということについて、改善をする必要があるのは明らかだと思います。子供のいる園庭に、玄関を洗った水が流れていくというのは、早急に直すべきだと思うので、対応をお願いします。

○児童保育課長 現場を確認させていただきまして、確かに水が流れてくるという状況がございました。今、具体的な修繕方法については検討中なのですが、例えば、コンクリートを打つですとか、そういった対策をしたいと考えているところでございます。

○樋口委員 もう一点、これに関連する話ですが、一般的に保育園、幼稚園、公立・私立を問わず、砂場の管理というのはどのようにしているのでしょうか。かつて砂場は、鳥のふんなどに、相当気を使って、ビニールで封鎖した時期がありますね。今は、どのように対応をされていますか。

○児童保育課長 砂場に関しましては、子供が遊ぶということで、衛生面については監視というか見ている状況ではあります。

また、砂についても、適宜入れかえを行っている状況でございます。

○樋口委員 本来なら、砂塵が出ないので、海の砂のほうがいいんですよね。ですが、今は海から持ってくることはできないので、川ないしは、土からとる砂なので、かなり粉塵があると聞きます。やはり砂場に入れるときには、相当ふるいにかけてやらないと、子供たちの体内に非常に細かい塵が入ってしまうので、そのあたりについても、ぜひとも配慮していただきたいと思います。

○垣内委員 私もお尋ねしたいのですが、三筋保育園についてですけれども、床や壁も汚く寒いと、こう書かれていますね。公共の施設であれば、一定程度、最低限の整備というのは当然求められていて、それに満たない場合は、マニュアルに沿って緊急的に修繕をするような、そういう基準もあろうかと思いますが、まず1点目。この保育園の場合は、そうした最低限の基準は満たしているとお考えなのかどうか。

2点目として、保育環境の維持に努めているということですが、これで十分確保できているというお考えなのか。サービス水準を確保できるということなのか。

3点目は、さらに平成36年までに大規模改修を実施するということですが、それまで待つということなののでしょうか。3点お尋ねしたいと思います。

○児童保育課長 施設の基準ということですが、基本的にはこちらにも記載してありますように、必要などころには必要な修繕をしているということで、その施設の環境的な基準については確保していると私どもでは考えているところでございます。

また、その保育環境の維持というところでも、こちらにあるとおり、例えば空調の設備なども随時更新はしておりますので、そこについても、適切な保育サービスを提供できる環境は確保しているという考えでいるところでございます。

また、3点目についてですが、こちらに書いてある公共施設保全計画ですが、平成27年度から36年度までの間で改修する施設ということで、三筋保育園もその対象になっているということなのですが、36年まで待つということではなくて、その期間内に大規模改修を実施するという考えでいるところでございます。

○樋口委員 もう一点。高齢者向けの料理教室実施等々です。今回の件は、単に高齢者向けの料理教室ということではなく、要支援の方ですので、このことについては、保健所等に情報があると思いますので、そちらで相談してもらわないといけない内容だと思います。特に介護の方というのは、誤飲や咀嚼の問題などいろいろありますので、料理教室をやったらいいということではないと思いますので、問い合わせをする筋が違うのではないかと

私は思います。いかがですか。

○生涯学習課長 お答えいたします。募集の際には、高齢者用というような文字は一切触れてございませんので、あくまでも料理が苦手な方に、手軽に複数のおかずがつかれるようにという講座でございました。

ただ、ニーズとして、高齢者の方に対するこういうご要望があるということも含めて、今後、関係課等も含めて、どのようにやるかについて今後、検討していきたいと思っております。

○矢下教育長 今、樋口委員がおっしゃったように、これは生涯学習課で対応する話ではないですよ。

○樋口委員 そうです。これは医療、介護の問題になりますので、教育委員会で対応するよりも、専門の部署で適確に対応していただく必要があるのかなと思いますので、そこは手を出さないほうがいいような感じがいたします。

○高森委員 別件になりますが、区民の方々の貴重なご意見やご指摘があつて明らかとなったということで、恐らく学校側、園側では気がつかないところもあったのかなと思うのですが、一方で、少し誤解をされている向きがあるようなご質問も幾つか見られるのですね。

まず1点目は、1枚目の表面の上の段のプレゼントのことですけれども、確かに、個人的なプレゼントということに対して、少し疑問視をされている向きがあるのですが、例えば、その回答欄にもありますけれども、園に対して、その卒業する保護者全員からいろいろなものが寄贈されるということに関しては、これはNGなのかどうなのか。おそらく、それは問題ないと思いますが、個人的なプレゼントという部分で、こういったことは保育園だけではなくて、学校や幼稚園やこども園などでも見られるのではないかと思います。これを一つのきっかけにして、少し気をつけていかなければいけないなと思っております。

それから、下の三筋保育園の件についてですが、園長先生方は気づいていらっしゃるのか。あるいは、気づかなくてこのような指摘を受けたのか。以前、某保育園のドアの開閉について、ドアが破損しているようなことが、やはり区長への手紙で出てきましたけれども、園側としても気づいていない部分について、このような指摘をいただけるということはとても大事なことです。常に注意を払っていただいて、ご対応いただければと思います。

それから、今度は1枚目の裏面の部分についてですが、この質問の要旨のところ、この方はどういうニュースをご覧になったのか、ちょっと分からないですけれども、本来は給付金から支払うべきものというニュースを見たというのですが、これは公立の学校や園でということなのでしょう。

○樋口委員 公立は給付金ではないのではないですか。

○高森委員 私立のことでしょうか。給付金から支払うべきものだというニュースというのは、どういう内容のものだったのか。何をもってこの給付金を充当すべきと言われてい

るのか、そのニュースの内容がわからないので、少しこの辺に誤解があるのかなという気がいたします。

それから、その下の保育園について、質問要旨の後半部分で、平成27年の台東区次世代育成支援計画から、むしろ悪化しているのではないかというご指摘があるのですが、このあたりはどのようにお考えでしょうか。悪化しているという指摘をどのように受け止めたらいいかということですか。

○**児童保育課長** 今回の次世代育成支援計画のご指摘の件ですけれども、この計画を策定した際に、将来的な保育の量の見込みというのを出しているのですが、実際、確かにこのご指摘のとおり、現状とは乖離が生じている状況でございます。

○**高森委員** 悪化ではなくて、追いついていかないということですね。

○**児童保育課長** おっしゃるとおりでございます。それにつきましても、今年の初めに、教育委員会にご報告をいたしました。今年度の保育所の整備というところで、新たな保育所をつくって、対応はしているという状況でございます。

○**庶務課長** 1点目の寄贈に関してでございますけれども、おっしゃられたように、確かに学校や園に対して保護者の皆様から寄贈いただく場合が多うございます。そういった場合には、きちんと金額の見積もりなどもつけまして、教育委員会の中で決裁をとりまして、適正に処理をしております。また、一定額以上のものになる場合には、教育委員会にも諮るようにしているところでございます。

○**高森委員** あくまでも個人的なものではなく、卒業する保護者全体であるとか、PTA全体での寄付ですよ。

○**庶務課長** 個人で寄付される場合も、処理をきちんとしております。それは、学校や園に対していただく場合は、そのような処理をしています。

○**樋口委員** プレゼントという概念は非常広くて、私も学生からもらいますが、寄せ書きや、子供が先生のために折り紙でチューリップなどを折って、画用紙に貼ったものも、プレゼントになるからだめだということでしょうか。プレゼントは全部だめですよという話は、何とも味気ない話になってしまいますが。

○**高森委員** 金額であるとか、何か基準はあるのでしょうか。

○**庶務課長** 基本的には、こちらにも書いてありますが、そういった個人的なものは受け取らないというのが、まず、前提でございます。ただ、今お話がございましたように、子供たちからのプレゼントまで断わってしまっているのかどうかということにはございます。ですから、基準といたしましても、どういう基準をつくったらいいのかというのは難しいと思いますけれども、例えば、保護者の皆さんが、こうしたことをすることに負担を感じていらっしゃる方が中にいらっしゃるのであれば、それはよく保護者の皆さんの中でお話をした上で、皆さんの合意のもとでやっていただけたらいいなと思っております。基準については、どうやったらというのは、考えさせていただきたいと思っております。

○**樋口委員** 何々先生と書いたものを、私はもらえませんから返しますというのは、何と

も冷たい関係になるので、常識の範囲というものがあると思いますので、よろしくお願ひ
します。

○末廣委員 三筋保育園の件もそうなのですが、施設の改修や改善ということに関して、
区としては、この年度はここをやるとか、ある程度、計画があると思います。それで、例
えば、保育園のほうから、このところを改善してくれという要望があった際に、何を優
先していくかという問題もあるでしょう。その判断は、その都度なさっているものでしょ
うか。

○庶務課長 緊急で、例えば、施設や設備が壊れてしまった。特にそれが子供たちの健康
や安全が脅かされる場合には、即時対応することが原則でございます。そうではないもの
で、かつ大規模な手をかけなくてはいけない。そういったものについては、先ほども出ま
したが、保全計画というものがあまして、何年頃にこの施設をやっていこうというもの
がございます。それ以外にも、毎年毎年、予算の中で、今年は、この幼稚園のここを直そ
う、この小学校のここを直そうというものもありますし、先ほどの緊急時の対応のために、
ここと決めないで、枠で予算を確保しているというものもございます。

いずれにしても、何か故障や破損などございましたら、現場の確認をしております。

○矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 次に、報告事項、庶務課のイについて、何かご質問はございませんか。

○高森委員 裏面の生涯学習課取扱分の事業について、この事業については何年かに実施
しているものだと思いますが、実績や成果についてはどのようなものが上がっているでし
ょうか。

○生涯学習課長 昨年の実績でございますが、昨年は区分が、キッズ、プレキッズ、フェ
アリーと3種類ございまして、今年度とは区分が異なっておりますが、実は、屋外で遊
ぶものですから、雨天の中止がかなりありまして、キッズについては12回中2回、雨天中
止がございました。大人が157名、子供が133名、合計で290名。約60%の参加率でした。
プレキッズについては、2回とも雨天でしたので結果として0。フェアリーにつきましては、
1回が雨天で中止になりまして、大人が20名、子供が12名、合計で32名という実績でござ
います。

○矢下教育長 参加者から何か、アンケートの結果だとか意見というのは、情報は入って
おりますでしょうか。

○生涯学習課長 やはり親子での参加が多く、特にお父さんが参加するケースが多かった
そうで、非常に楽しかったという趣旨のことを伺っております。

○高森委員 土日に開催されているということもあるのでしょうか。

○生涯学習課長 その辺も考慮して、日程を設定してございますので、結果を見ると非常
に効果があったということだと思います。

○矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、庶務課のア及びイについては、報告どおり了承願います。

(2) 学務課 ウエオ

○矢下教育長 次に、学務課のウからオについて、学務課長、説明をお願いします。

○学務課長 それでは、まずはじめに、平成29年度夏季施設等の日程についてご報告をいたします。資料は9をご覧ください。

本年も例年どおり、来月、5月のゴールデンウィーク明け、こちらの霧ヶ峰の中学校オリエンテーションを皮切りに資料のとおり、夏季施設等の行事を進めてまいります。よろしくお願いたします。

それから、2点目でございます。平成29年度連合体育大会等の日程についてご説明いたします。資料10をご覧ください。

まず、小学校でございますが、今年は10月17日火曜日、台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場におきまして、第32回台東区立小学校連合運動会を開催する予定でございます。予備日は10月24日とさせていただきます。

それから、中学校でございますが、9月22日金曜日、江東区夢の島競技場におきまして、第71回台東区中学校連合陸上競技大会を実施予定でございます。

こちらについては以上でございます。

それから、3点目になります。平成30年度新入学「台東区立中学校選択制度」のスケジュールについてご説明いたします。資料は11をご覧ください。

中学校の選択制度につきましても、本年も例年どおり大きな変更はございません。資料の一番左の欄でございます、学校案内冊子・紹介番組のところでございますが、こちらにつきましても例年どおり、来月5月に中学校7校の入学可能者数の調査をさせていただいた上、6月の本委員会において入学可能者数の決定をお願い申し上げます。

それから、夏休みに入る前の7月の中旬には、今年の小学校6年生の児童に対して学校案内冊子の配布を行うとともに、入学可能者数の公表をいたします。

それから、8月から9月にかけては、1学期の間に取材・作成をしました各中学校の紹介番組をケーブルテレビにおいて放送する予定でございます。

それから、資料の真ん中、学校公開でございます。こちら例年どおり、学校選択の参考としていただくために6月と9月、2回に分けて各校において学校公開日を設定し、広く公開してまいります。

それから、一番右の欄でございます、就学事務関係でございますが、例年どおり、こちら10月に学校選択票の発送から、選択の受け付け、こちらを受けて、11月上旬に中間選択状況のまとめたものを公表させていただき、さらにその後、選択校の変更期間を経て、最終選択状況をまとめてまいります。この状況に応じまして、抽選の実施につきましても、

本委員会において決定をお願いするところでございます。

以上、簡単ではございますが、3点ご報告でございます。よろしくお願いいたします。

○矢下教育長 ただいまの説明につきまして、まずは報告事項、学務課のウについて、何かご質問はございませんか。

(なし)

○矢下教育長 次に、報告事項、学務課のエについて、何かご質問はございませんか。

(なし)

○矢下教育長 次に、報告事項、学務課のオについて、何かご質問はございませんか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、学務課のウからオについては、報告どおり了承をお願いいたします。

(3) 指導課 カ

○矢下教育長 次に、指導課のカについて、指導課長、説明をお願いします。

○指導課長 それでは、私から、平成29年度国際理解重点教育中学生海外留学派遣生徒選考結果等についてご説明申し上げます。資料12をご覧ください。

本区では、中学生をグラスサックセ市に派遣し、海外における生活や学習及び相互交流などの直接体験を通して、豊かな人間性を培い、国際社会において尊敬と信頼を得られる区民の育成を目指しております。

今年度の応募及び選考状況についてですが、今回は区立中学校から61名の応募がありました。選考につきましては、第一次選考で、各教科の学習の記録、学校生活の様子、海外派遣を希望した理由等について書類で審査を行いました。第二次選考は、面接審査を実施し、積極性、協調性、意見の具体性を個別設問とし、また、グループ協議を通して審査を行いました。

この2回の選考を経て、17名の派遣生徒を決定いたしました。男女別人数につきましては、男子が7名、女子が10名となっております。派遣期間は資料のとおりとなっております、今後、旅行業者につきましては、入札を実施してまいります。

内容といたしましては、スコウブリュネトスコーレの学校訪問と、生徒家庭へのホームステイのほか、市長の表敬訪問やコペンハーゲン市内の視察などを計画しております。

引率につきましても資料のとおりとなっております、今後、中学校長会からの推薦を受けて委嘱してまいります。

派遣生徒たちは、事前に10回、帰国後に4回の研修と、あわせて報告会に取り組んでまいります。報告会は、9月23日土曜日に、桜橋中学校にて開催予定です。

報告は以上でございます。

○矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

○樋口委員 各中学校から何人の応募があって、何人採用したのか教えていただけますか。

○指導課長 応募の状況については、今、手元に学校別の資料は持ち合わせておりませんが、選考結果につきましては、国際理解重点教育校である桜橋中学校から5名、他の6校につきましては、各校2名ずつという状況になっております。

○樋口委員 非常に申し上げにくいのですが、桜橋中学校が5名で、他が2名というのは、アンバランス過ぎないかということを行うPTAの方がいて、教育委員会で発言してくれないかという依頼を受けております。確かに、少し不公平感があるなという気がいたします。

○垣内委員 派遣される生徒のご家庭も費用を負担されるのですよね。負担の割合はどのようなになっているのかというのが1点。

最近、ヨーロッパでは、テロ行為が、想定していないような形で、また想定していないような場所で起こるものですから、その辺りは十分配慮していただきたい。

○指導課長 まず1点目の負担についてですが、各ご家庭には、3万円ご負担をいただいております。

それから、現地の安全面につきましては、毎年お願いをしている現地通訳の方からも、定期的に状況については確認を伺うとともに、外務省等のホームページでも常時安全の確保、状況については把握に努めているところでございます。

○垣内委員 本区も、もちろん負担されていると思いますが、ご家庭が3万円で、残りの費用は区が負担ということによろしいでしょうか。

○指導課長 はい。

○垣内委員 それはどのぐらいですか。年によって違うのかもしれませんが。

○指導課長 詳細については確認をさせていただきますので、少々お時間をいただきます。

○高森委員 先ほどの学校ごとの派遣生徒の人数の配分については、桜橋中学校は国際理解重点教育校ということもあるので、その枠が5名に決められていたような記憶があるのですが、それを見直すということであれば、国際理解重点教育校を持ち回りにしていくという方法もあるのかなという気はいたします。それができるかどうかは、よくわかりませんが。

ところで、私のほうで伺いたいのは、もし差し支えがなければ、結団式の日程などもここに載せていただいて、次からお知らせいただければと思うのですが、ちなみに、今回はいつでしょうか。

○指導課長 申し訳ありません。順序が前後しますが、先ほどの費用について、これは全体の総額は750万円の予算となっております。

○樋口委員 教員も含まれる。

○矢下教育長 引率まで含めてということですね。

○指導課長 先ほどの結団式の日程についてでございますが、6月27日でございます。時間等の詳細については、追ってご連絡申し上げたいと思います。

○矢下教育長 よろしいでしょうか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、指導課のかつては、報告どおり了承を願います。

3 その他

生涯学習課

○矢下教育長 その他、何かございますか。

○生涯学習課長 台東区文化財調査報告書の刊行についてご報告をさせていただきます。

お手元に冊子をお配りさせていただいておりますが、今回は5種類でございます。まず1冊目が、2年ごとに作成をしてございます、「台東区の文化財第15集」でございます。26年度、27年度に台東区民文化財台帳に登載と指定されたものを紹介してございます。

2冊目が「たいとう名所図会 史跡説明板のガイドブック」でございます。こちらは、区のほうで設置をしております史跡の案内をするものでございますが、13年ぶりの発刊となりまして、前のものは白黒の写真でございましたが、今回はカラーで発刊したものでございます。

3冊目でございますが「台東区の復興小学校」でございます。こちらは、区内に現存してございます復興小学校5校と改築小学校の写真と、学校に通われていた方々のインタビューなども記載をしているものでございます。

4冊目が、台東区文化財の調査報告書第56集で「浅草寺縁起絵巻」でございます。中には浅草寺の貴重な資料、カラーと白黒でございますが、いろいろと浅草寺の由来に関するものについて記載をしてございます。

5冊目が、こちら浅草寺に関するものですが「浅草寺旧蹟考」でございます。こちらは、八王子の千人同心を務めた方が、武蔵国の地誌の編さんのために集めた資料をまとめたものでございます。

こちらにつきまして、全て図書館での貸出とともに有償の頒布をしてございます。区役所情報コーナー、生涯学習センター、浅草文化観光センター、下町風俗資料館で販売をしているものでございます。

簡単ではございますが、ご報告は以上でございます。

○矢下教育長 それでは、今の生涯学習課の報告については、ご了承をいただきたいと思えます。

その他、何かございませんか。

(なし)

○矢下教育長 それでは、協議事項、指導課のエについて、会議事項第15条の規定に基づき、秘密会とし、ただいまより協議いたしたいと思えます。

指導課長、説明をお願いします。

(指導課長説明)

○矢下教育長　これで秘密会を終わります。

以上をもって本日予定された議事日程は、全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の定例会を閉じ、散会いたします。

午後3時20分　閉会